

埼玉県山岳連盟
埼玉岳連報 第30号

発行者 森下 健七郎
発行所 埼玉岳連事務所 村岡正己方
〒340-0211
鷲宮町鷲宮団地1-28-407
編集人 岩井田 正昭
発行部数 1600部

彩夏到来08埼玉総体

限界を越え 飛び込め 永遠の影に消れ

ガンバレ埼玉！ 埼玉県山岳連盟は応援します



平成20年度 評議員総会開催

《巻頭言》

新会長に就任するに当たって

埼玉県山岳連盟・会長 森下 健七郎

私は今年度の4月総会に於いて、新会長の役割に推挙され、承認を戴きました。

私としては身に余る役職であり、「本来は補佐的仕事が好きだし、そういう形で貢献して行きたい」と言うのが正直な気持ちでした。しかし、「2年前にも推挙されながら辞退した」と言う経緯もあり、「他に適当な方が居なければ・・・」と言う条件で・・・今回は覚悟を決めた次第です。

退職後再任用の一介サラリーマンである私は田中前会長と比較して人脈・指導力他諸々・・・と何一つかなう物は有りません。そういう事を承知の上で推挙・承認を戴いたものと理解し、肩肘張らずに「私の出来る範囲内で頑張ろう」と思っている次第です。よろしく願います。

さて、会長の役割とは何でしょうか？一言で言うならば、内部的には「各委員会等を中心とした岳連事業・その他がスムーズに行くようにサポートする仕事だ」と思っています。また、外部的には「埼玉県山岳連盟の代表として、岳連事業の実践・広報活動等を通じて岳連の社会的地位の確立・発展に寄与する事だ」と思っています。それ等が円滑に滞りなく進むように、会員の皆様と共に一緒になって組織の整備・改善を図って行ければ良いなと思っています。

私を取り組みたいテーマは一言で言うと「組織の活性化」即ち「今後、埼玉岳連会員の皆様が未来に向かって、生き生きと楽しく活動して行く為の組織

形態の創出を目指す」事です。(この事は田中前会長も折に触れて強調して来た事でもあります) その為のキーポイントは「組織内活動⇨組織外の社会的貢献活動になるような事業の創出」と思っています。その為の具体的課題として私が今思いつく問題意識としては下記のような課題が有ります。

1. 公益的で収益性のある事業の創出とその組織形態のあり方の研究
 2. 個人会員の受け入れ(社会的ニーズに対する貢献と保険加入者の増大化)
 3. 単会と事務局との通信事務の効率化(メール等による事務処理の効率化・費用軽減)
 4. 事務局の仕事の分担化(文書発送・会計処理)
- その他にも、未だ色々課題は有るでしょう。それ等について理事会を中心に議論を深めて、優先順位を付けて具体的に一つ一つ提案し実行に移せば良いかと考えています。忌憚無く、色々な実効性のある提案をお寄せ戴ければ幸いです。
- 以上、よろしくお願い申し上げます。

平成20年度・新副会長就任のご挨拶

埼玉県山岳連盟 副会長 石倉昭一

この度、埼玉県山岳連盟の副会長に選任された大宮アルパインクラブ代表の石倉昭一です。一言、ご挨拶申し上げます。まず長年に亘って県岳連のためにご尽力いただいた田中前会長に感謝申し上げます。ありがとうございます。

実は私はさいたま市山岳連盟の事務局を4年務めていますので、さいたま市の方々によく存じ上げております。他の地区の皆様よろしくお願いいたします。

何も分からないことばかりですが、幸い理事長の村岡さんとは昔同じ山岳会で一緒に山登りをした仲間でもあります。村岡さんに教えてもらいながら森下新会長の下で少しづつやっていきたいと考えています。

さて私が今関心をもっていることは、若い人達をもっと山登りをしてほしいことです。特にアルパインができる人を増やしたいと考えています。若い人達対象の指導・育成、そして会と会との垣根を越えての交流。しかし若い人達が入ってこなければそれできません。

今はネット時代です。何かやりたい、調べたいと思ったらネットでほとんどのことが分かります。是非、県岳連もホームページの開設を提案します。ホームページがあれば、若い人達が見てくれたり関心をもってくれることは間違いありません。回りを見ていると各会の高齢化が気になっています。

現在私はさいたま市山岳連盟の事務局を努めております。地区岳連は地域密着の活動をしており、市民ハイキングなど地域社会への健康と体力向上などに寄与しております。県岳連も地区岳連の存在を認識し、お互いの連携を深め、全体の活性化につながれば良いと考えています。

今後、できる限り県岳連の行事には参加・出席するつもりです。またできる限り山へも登りたい。私の好きな言葉があります。「なぜ山に登るのか?、その問いに答えてはならない。登りに行け。ただ登りに行け。」

こんなスタンスで今年やって行きたいと思えます。皆様どうぞよろしくお願いいたします。

※編集注

略歴 : さいたま市山岳連盟・事務局局長

大宮アルパインクラブ代表



新任ご挨拶 (右)石倉新副会長と(左)柳原新副会長



左から平山ユージ氏・森下新会長・小山田大氏



田中会長退任のご挨拶

埼玉県山岳連盟会長退任のご挨拶

名誉会長 田中 文男

大勢の方々々に支えられて、埼玉県山岳連盟の会長職を七年間無事に務めさせていただきました。この間、多大なご支援とご協力を下さった全ての方々、心から感謝とお礼を申し上げます。

さて、県山岳連盟の理事、常任理事、副理事長、理事長、副会長、会長と全ての役をやらせて頂きましたが、最初に関係したのは一

九六二年、第一七回国民体育大会の監督をピンチヒッターで引受けたのがきっかけだったと思います。それから四十六年間、ともかく埼玉岳連は私のふるさとでした。ことに理事長職を長く務めさせて頂いたので幾つかの事業を定着させる事ができました。ことに記憶に残るのは今も続いている毎年十二月第一土曜日の冬山リーダー会議です。師走の忙しい時なので少しでも多くの仲間が集まって貰おうとし著名な登山家を毎年招き、講演をして頂きました。日本山岳協会会長の鎌田久氏、同じく斉藤一男氏、三重からは石岡繁雄氏、名古屋から湯浅道男氏、神奈川から広島三朗氏、あるいは警察庁の現職の軽視、気象庁の庄司氏、群馬から名塚氏、その他数え上げたら切がないほど多くの方々にお出で頂きました。その後不幸にも山で亡くなられた方が三、四名はいらっしゃいます。思えばあの時お話を聞いておいてよかったと思う方ばかりでした。講演会前後に行う講習会、参加者へカレンダーのプレゼントなど、多くの思い出を沢山築くことができた事業でした。また、県岳連の皆さんには何かとご苦労をおかけ致しましたのが日本山岳協会の常務理事、副会長、会長という要職を次々にやらせていただいた関係で、何かと言えば地元埼玉で事業を展開するという事でした。しかし面倒とは思われたいでしょうが、皆さんは本当によくお手伝い下さいました。古くは二十二回の全日本登山体育大会、最近では第五十九回国民体育大会

山岳競技会、そしてとうとうクライミング競技のワールド・カップまで開催してしまいました。そのいずれもが成功したのは埼玉岳連の皆さんの全面的なご協力があつたからです。本当にありがとうございます。また、山岳共済の保険についても、田中の出身母胎として普及に努力してくださいました。おかげ様で日本山岳協会の中で加入者数では常に上位を占める事ができ

ました。また今回私は会長職は退任させて頂きました。引続いて名誉会長として県山岳連盟のバックアップをさせて頂く事となりました。可能な限りお手伝いをさせて頂きます。幸い、後任の森下健七郎会長は人望も厚く長い間埼玉高体連登山専門部の部長を務められた方です。いわゆる山ヤさんの気持を充分に理解して下さいます。これまでは副会長でしたがこれからは埼玉岳連の発展のために更に尽して頂けます。念のため申し上げれば二年前、私は退陣を表明し森下さんに後を託そうと致しました。しかし当時の総会席上で森下さんが高校教師の現役中なので、もう少し待つて欲しいという要望がありようやく今年からの登場となりました。私も安心して少し遊びの世界に浸ろうと思っております。

いずれに致しましても、これからも埼玉県山岳連盟の一人として、発展のために努力したいと考えております。

終りにもう一度、本当に皆さん、ありがとうございました。

《平成20年度評議員総会》報告

1・期日：平成20年4月20日(日)

午後2時～5時

2・会場：大宮ソニックスシティ・603号室

3・出席者：※敬称略

◆評議員：20名

田中文男、掛川統之、北田紘一、佐藤 求、芝田信子、天野賢一、山本雄治、石倉昭一、山口定男、大久保 孟、塚越国雄、小高英雄、宮田征治、新井宏司、酒井晴夫、柳下明男、森下健七郎、古峰 孝、矢萩実、柳原政一

◆代理出席：6名

石橋 修、鈴木正一、門出郡平、土屋正昭、矢田 実、竹腰昌信

◆委任状：22名

内野 操、菅野修一、岩武成秋、関根善昭、飯島雄二、小川 晃、原 秀夫、長谷川茂、逸見照三、小池栄次、高橋哲也、澤田正博、福田義夫、大澤靖一、平野新一、大野幾雄、榎本 昇、岩波孔明、大谷 明、斉藤尚之、石黒明、中島利一

合計 48名

◆理事出席：27名

(11名、評議員・代理人 を兼ねる)
斉藤勝男、田中文男、瀬藤 武、渋谷直克、野村善弥、堀江伸子、天野賢一、塩谷壽子、山口定男、加藤富之、石橋 修、小高英雄、鈴木正一、新井宏司、柳下明男、岩崎繁夫、松井恒和、小茂田利孝、鎌田雅浩、大石智章、村岡正巳、矢萩 実、土屋正昭、柳原政一、竹腰昌信、岩井田正昭、大倉至

4・総会次第 司会：大倉事務局長

(1)開会の言葉：森下副会長

(2)会長挨拶：田中 会長

(3)議 事(議長：規約第22条2項・評議員より議長を選出・承認)

議長：新井評議員(奥武蔵ワンダーフォーゲル)

議事録作成人：岩井田理事(あゆむ山の会)

：大会成立宣言：大倉事務局長

規約26条・定員の過半数(48/59)で

会議成立を宣言

第1号議案 平成19年度事業報告

●各委員長より事業報告

県岳連事務局：大倉事務局長

指導委員会：野村委員長

国体委員会：代理・大倉事務局長

クラミング委員会：松井委員長

選手強化委員会：小茂田委員長

遭難対策委員会：瀬藤委員長

海外登山委員会：塩谷委員長

自然保護委員会：岩崎委員長

ジュニア委員会：鎌田委員長

広報委員会：岩井田委員長

企画委員会：村岡委員長

↓ 第1号議案：可決承認

第2号議案 平成19年度決算報告

●加藤事務局より決算報告、特別会計決算報告。関プロ役員等からの寄付金およびWC加須大会主管費等の諸収入で、繰越金が

出来た。

●平成19年度監査報告：

監事：内野安登・佐藤 求・↓監査の結果

総て適正に処理されている。

↓ 第2号議案：可決承認

第3号議案 平成20年度役員 改選

●田中会長より退任の表明挨拶後、新会長・副会長について推薦提案

新会長：森下健七郎(高体連)

新副会長：柳原 政一(小鹿野山岳会)

新副会長：石倉 昭一(大宮アルパインクラブ)

もう1名副会長候補を打診しているが5月の理事会で提示する事で、三役に一任させて頂きたい。

↓ 第3号議案：可決承認

臨時理事会開催：評議員総会一時休会を宣言

理事会を臨時招集↓(大倉事務局長)

◆臨時理事会・議長(森下新会長)：

①理事長・副理事長・事務局長の選出↓総会に提出

②田中前会長を名誉会長に要請、浅見名誉会長を名誉顧問に↓総会に提出。

③参与の推挙↓総会へ提出。

■評議員総会再開

◆森下新会長挨拶及び新役員発表

理事長：村岡正巳(再任)、

副理事長：天野賢一(再任)、

事務局長：大倉至(再任)

名誉顧問：浅見 豊(新任)

名誉会長：田中文男(新任)

参 与：井上守司、野井篤、北千恵吉

井古田忠男、北田紘一、新井宏司、大野好司(留任)に伴い、

武井正男、中田弘、平沼伸一、

柳下明男、牧野要雄、大野幾雄

(新任)を調整している。

5月の第1回理事会で整理して提示する。

尚、田中名誉会長は県岳連正会員として日

山協・県体協評議員の任務を遂行する。
その他： 田中賞表彰 …… 日程関係で繰り上げて実施・田中会長より賞金授与。

受賞：加須市山岳連盟(会長・古峰孝)：2005・2006ジャパンカップ、2007World Cupと直接運営に当り成功に収めた功績に対し表彰。

第4号議案 平成20年度事業計画

●各委員長より事業計画の報告

県岳連事務局 …… 大倉事務局長

指導委員会 …… 野村委員長、

国体委員会 …… 代理・大倉事務局長

クライミング委員会 …… 松井委員長

選手強化委員会 …… 小茂田委員長

遭難対策委員会 …… 瀬藤委員長

海外登山委員会 …… 塩谷委員長

自然保護委員会 …… 岩崎委員長

ジュニア委員会 …… 鎌田委員長

広報委員会 …… 岩井田委員長

企画委員会 …… 村岡委員長

↓ 第4号議案 …… 可決承認

第5号議案 平成20年度予算案

●加藤事務局より予算案提示

・今年度は所属証明書発行年度(2年毎)なのでその分諸収入が増える。

・支出負担金の日山協負担金を39,500↓395,000に訂正。その分他の支出が減る事を了承して下さい。

〔質〕酒井(エコー山の会) …… 岳連所属証明書は強制的なものなのかそれとも協力という事で良いのか。

〔答〕県岳連運営への協力という事で発足したもので、各会で正式に登録している方は是非協力して貰いたい。

証明書に付加価値が付くようにして行きたい。

(担当：加藤事務局)

↓ 第5号議案 …… 可決承認

その他

①全国高体連登山大会について(大石：高体連)

②ロッククラフト川越について(村岡理事長)

県岳連出身者でジム経営は今迄例が、無かつたので是非様々な面で利用して行きたい。

岳連証明書で入金半額(¥1,050)になる。

：議事終了：終了に伴い新井議長を解く。

(4) 田中会長退任の挨拶

(5) 柳原・石倉 新副会長挨拶

(6) 閉会の挨拶：柳原副会長

総会終了後・懇親会を開催合計18名参加

議事録・作成 岩井田正昭

(文責：大倉 至)

平成20年度評議員総会及び5月理事会において左記の通り役員並びに専門委員会が決定いたしましたのでお知らせいたします。

埼玉県山岳連盟 事務局

【平成20年度・埼玉県山岳連盟役員】

平成20年～21年

名誉顧問：浅見 豊 (新任) 恵流峰会

名誉会長：田中 文男 (新任) 浦和山岳会

参与：井上 守司 (留任) 元・飯能讚岳会

：野井 篤 (留任) 毛呂山山岳会

：北 千恵吉 (留任) 小鹿野山岳会

：井古田忠男 (留任) 本庄山の会

：北田 紘一 (留任) 浦和西岳友会

：新井 宏司 (留任) 奥武蔵WV

：大野 好司 (留任) 高体連

：武井 正男 (新任) 深谷山岳会

：中田 弘 (新任) 浦和溪稜山岳会

：平沼 伸一 (新任) 小川山の会

：牧野 要雄 (新任) 浦和溪稜山岳会

：大野 幾雄 (新任) 戸田山の会

：柳下 明 (新任) 山岳同人埼玉

：森下健七郎 (新任) 高体連

：柳原 政一 (新任) 小鹿野山岳会

：石倉 昭一 (新任) 大宮AC

：福会長 …… (新任) ※6月理事会決定

：佐藤 求 (再任) あゆむ山の会

：内野 安登 (再任) エコー山の会

：村岡 正己 (再任) 加須SCC

：天野 賢一 (再任) 遠峰山岳会

：瀬藤 武 (再任) 浦和溪稜山岳会

：大倉 至 (再任) MAS

：加藤 富之 (再任) 深谷山岳会

《専門委員会・委員長・所属会》

指導委員会 …… 野村 善弥(再任) あゆむ山の会

国体委員会 …… 長谷川 茂(再任) 熊谷山岳会

クライミング委員会 …… 土屋正昭(※) 加須CC・ピナ

選手強化委員会 …… 小茂田利孝(再任) 高体連

遭難対策委員会 …… 瀬藤 武(再任) 浦和溪稜山岳会

海外登山委員会 …… 塩谷 壽子(※) 大宮山岳会

自然保護委員会 …… 岩崎 繁夫(新任) 戸田山の会

ジュニア委員会 …… 鎌田 雅浩(再任) 高体連

広報委員会 …… 岩井田正昭(再任) あゆむ山の会

企画委員会 …… 村岡 正己(再任) 加須SCC

※委員長総会まで代行(6月理事会で決定)

【埼玉県山岳連盟・事務局】

北葛飾郡鷺宮町鷺宮5-4-15 大倉 至方

tel・0480-58-1507・fax・0480-38-8129

E-mail 《ih26354@ha.beckoame.ne.jp》



ご祝辞を述べる田中会長

《浅見豊氏 藍綬褒章受賞記念パーティー》

県山岳連盟 浅見豊名誉会長が藍綬褒章を受章され平成20年3月30日秩父『ホテル美やま』において藍綬褒章受賞記念パーティーが盛大に開催された。日山協から田中会長、若月自然保護委員長他、県山岳連盟からは森下、中副副会長、大倉事務局長等役員他18名が祝賀パーティーに参加した。

《藍綬褒章受賞によせて》

この度の藍綬褒章受賞おめでとうございます。私が山と出会った昭和四十三年当時、既に浅見さんは秩父山岳連盟副会長として、登山道や指導標の整備、自然保護活動、小中学生の登山指導などを通じ、自然保護意識高揚の啓蒙活動などに積極的に取り組まれていた。

昭和三十年代は武甲山における山岳遭難者の遺体搬出作業に追われ、新婚当ても毎日のように出かけていたそうである。その武甲山の石灰

採掘に合わせ、石灰岩特有の貴重な植物保護のため、武甲山植物群保護対策推進協議会を立ち上げ、武甲山資料館の建設の他、郷土への関心、自然保護への関心を持つてもらおうと始めた、小中学生が対象の、武甲山図画・作文展は今年で三十八回目となり毎回一千名にも及ぶ応募者を数え、親子二代に亘る参加者も多い。

秩父山岳連盟会長、武甲山植物群保護対策推進協議会会長の要職で地元貢献する傍ら埼玉県山岳連盟名誉会長、日本山岳協会自然保護常任委員会副委員長として、白神山地の世界登録遺産シンポジウム、秩父多摩国立公園五十周年管理検討委員会で「甲斐」を含める決定に参画、山小屋のトイレ改善による水質汚染問題解消など多くの課題に取り組み、日本全国の山に谷に足を運び環境問題解決策の提起・意見具申など積極的に展開している。まさに秩父における自然保護活動の草分け的な存在であり、その功績は甚大なものがある。

また昭和二十九年霧藻ガ峰への秩父宮殿下、平成十二年妃殿下のレリーフ建設、山登りの原点となった雲取山への鎌仙人のレリーフ建設（昭和五十一年）に尽力するなど、秩父山岳連盟の活動拠点であり、秩父の山の歴史を知る貴重な生き字引でもある。

浅見さんの自然保護活動は実に五十年の永きに亘り着実に成果を上げていますが、今回の受賞は、新婚当時から支え続けた奥様のご努力の賜物であろうと思われる。体形も変わらず、山歩きのバイタリティーも、お酒の量もいっこうに衰えない。その活力の源はどこに潜んでいるのだろうか、きっと、大きな大きな内助の功のおかげなのであろう。

純日本の山容を持ち、魅力ある貴重でかけ

がえのない秩父の自然を守り、後世に残し伝えるために、今後も益々のご活躍と後進への指導をお願いしたい。

秩父山岳連盟副会長 新井 貞夫



股峠での開山式

《第22回二子山・開山式》二子山

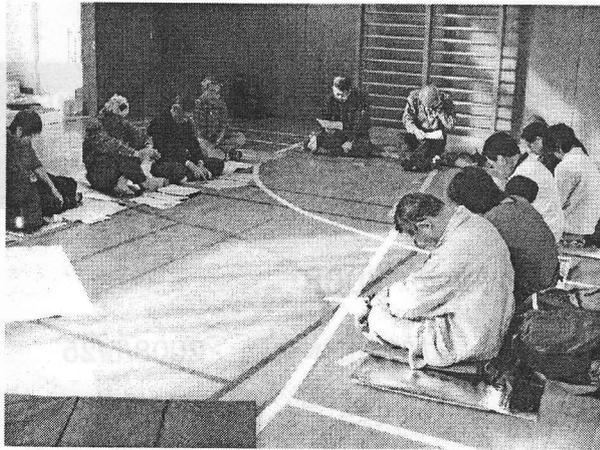
4月29日 小鹿野・二子山にて恒例の開山式が西岳、東岳分岐点の股峠にて行われ小鹿野町役場関係者、観光協会、山岳関係者らが多数参加した。進行は小鹿野山岳会（県岳連副会長）柳原会長の司会で行われ、地元の山岳救助隊員や県岳連の、森下新会長、村岡理事長、大倉事務局長らが参加、山行の無事を祈り玉串を奉天し、全員でお神酒代わりのお茶で乾杯して式典は無事終了した。今回初参加の「川越山の会・五十雀」の皆さんや、熊谷HC・桜井会長らと西岳山頂へ同行した。（広報委・岩井田）

《自然保護委員会自然観察会》その1
4月12日(土)～13日(日)

参加者・自然保護委員 20名
平成20年度第1回自然観察会が小鹿野町の
廃校となった「旧倉尾小学校・体育館」を借用
して開催。午前中は馬上「カタクリ自生地」に
おいて観察会。花を楽しんだ後会場を後に夕方
より夕日が差し込む陽だまりの体育館床に座つ
て自然観察会・指導員講習会を開いた。

夕食は懇親会を兼ねて地元(小鹿野山岳会・柳
原会長の差し入れ)ならではの山菜をおかず
美味しくいただいた。深夜、床にマットを引い
てシユラフにもぐる。翌日は朝食後、体育館内
の清掃を行い、観音山国体コースをたどり自然
観察を楽しんだ。

(自然委・岩井田)



倉尾小学校体育館にて指導員講習

《海外登山委員会総会》開催される

風薫る、5月17日(土)上沼旅館(東松山
市)において、遅まきながら、概ね半数、13
名出席の元、委員会総会が開催されました。昨
年(平成19年)は創立10周年を迎え、記念
誌「ヒマラヤへー高みを求めて」を刊行、節
目の年でした。本年は第3次海外登山委員会の
初年度。その委員会を牽引する委員長に相応し
い天野賢一氏を選出し、スタートを切りました。
主な事業計画の一つ、インド・ヒマラヤ登山隊
(仮称)(スダルシャン・パルバット6、507
m峰登山)遠峰山岳会が派遣母体となり、8月
9日～24日、メンバーは委員6名+インド人
2名+韓国人2名+現地ガイド2名の計画が確
定、より具体的・現実となり、遠征に向けて準
備に取り組みことになりました。
また、一方、懇親会においては、6月24日



大山光一講師を総会にお招きして

(火)、大宮ソニックシティビル603号室(会
議室)で開催される、第6回講演会“世界七大
陸最高峰登頂と登山10年計画”の講師、大山
光一氏のご出席を戴き、事前打合せと豊富な経
験によるアドバイスを個別に戴き大変参考にな
りました。時の経つのも忘れて大いに盛り上が
り、平成21年は7、000m峰へ・・・の夢
等を膨らませつつ、激しい雨の夜半、お開きと
なりました。

※ 今回指す、Sudarshan Pa
r bat はインド登山財団が「観光ビザ」
での登山許可峰、113座のうちの1座。
(塩谷記)

北インドヒマラヤ

《スダルシャンパルバット・6507M》

登山計画 概要

- 隊 名：スダルシャンパルバット登山隊
- 主 催：さいたま市山岳連盟・遠峰山岳会
- 後 援：埼玉県山岳連盟・海外委員会
- 期 間：平成20年8月9日～24日
- 構 成：隊長・山際登志男(遠峰)
- 副隊長・内野安登(エコー)
- 副隊長・宮澤喬雄(在印)
- 医 療：平野晃司(遠峰)
- 食 料：鈴木直樹(浦和溪稜)
- 装 備：風間進(浦和溪稜)
- 他 他：印度1名・韓国2名

※初登1981年5月 インド・フランス隊
国内記録・3登(北大隊・帯広隊・富山隊)

敬省略(海外委・岩井田)



第9回 KAZOクライミングカップ 2008

《RESULT》速報

加須市体育館 2008/5/25

カテゴリー：E エキスパート

順位	姓名	性別	所属	備考
1位	沼尻 拓磨	男		
2位	伊藤 達也	男		
3位	長谷川 慎平	男	岩手県立盛岡南高校	
4位	芝田 将基	男	帝京大学	
5位	村井 隆一	男	船橋ロッキー	
6位	細田 匠	男	ピナ/久喜工業高校	埼玉山岳連盟
7位	門間 希美	女	KSCC	埼玉山岳連盟
8位	樋口 純裕	男		

カテゴリー：Mミドル

8位：関 金正 (KSCC)、9位池田敬人 (KSCC)

カテゴリー：キッズ

11位：藤岡大地、12位：内海亜沙美 13位：末吉龍太 (KSCC)

第1回 県民体育大会/国体埼玉予選会・ボルダリングコンペ

《RESULT》速報

RockCrft : 川越 2008/5/31

一般の部

順位	姓名	性別	所属	備考
1位	佐々木 政明	男	KSCC	埼玉山岳連盟
2位	伊藤 達也	男	PUMP1	
3位	小峰 直城	男	坂戸高校	

高校以下の部

順位	姓名	性別	所属	備考
1位	橋本 堅太	男	庄和高校	
2位	内海 亜沙美	女	JSCC	
3位	桐原 圭吾	男	庄和高校	

《埼玉県山岳連盟》理事会報告

平成20年 5月理事会1

5月13日(火)午後7時30分〜鴻巣高

0. 参加者：森下会長、柳原副会長、石倉副会長、村岡理事長、天野副理事長、瀬藤副理事長

理事：土屋(KSCCビナ)、塩谷(大宮)、岩崎(戸田)、大倉(MAS)、岩井田(あゆむ)、加藤(深谷)、斉藤(蕨ハイキング)、堀江(桜草)、町田(大宮アルパイン)、小高(熊谷アルム)、桜井(壁稜)、平塚(エコー)、平沼(小川)、熊谷(蓮田)、小茂田：鎌田・大石・松井(高体連)、佐藤(MAS)、田中(大宮岳稜) 26名

1. 開会挨拶(柳原副会長)

2. 挨拶(森下会長)

3. 報告

(1) 自然観察会No-1 …岩崎

4/12〜13 馬上カタクリ自生地・観音山観察・旧倉尾小体育館泊 日陰ツツジ、三つ葉ツツジ、ヤシオツツジが咲き乱れ美しかった。参加者20名+里山ガイド6名

(2) インターハイ役員研修会 …大石

no-1 (4/26.27 両神山、白泰山) 岳連&高体連50名参加

no-2 (5/10〜12 両神山、白泰山、雲取山) 高体連大会と合わせて実施、両神は積雪10cm (3) 二子山開山式4/29(土) 好天観恵まれた。

4. 協議

(1) 平成20年度評議員総会の報告と理事会委任事項 …森下

① 副会長について：あと1名予定している。前向きに検討しているがもう少し猶予貰い、次回理事会には提案したい。

② 常任理事の委嘱について：規約13条により、各専門委員会委員長・事務局員を決定

③ 参与等の委嘱について：井上守司、野井篤、北千恵古、井古田忠男、北田紘一、新井宏司、大野好司、武井正男、中田弘、平沼伸一、牧野要雄、大野幾雄、柳下明男に決定。業務組織に関して、副会長が各専門委員会を担当していく形に行きたい。副会長がもう一人決まった段階で次回常任委員会・理事会で明確にしたい。

(2) 平成20年度各委員会等事業計画について：大倉

4月20日総会后、行事計画の変更・追加等が有れば早めにお願ひします。

(3) 県岳連への加盟希望 …村岡

奥武蔵散歩会(日高市)が岳連に加盟希望しています。会員50名でハイキングを中心に活動している。岳連に加盟し、しっかりした技術を身につけたい。次回常任委員会に出席してもらいます。

(4) その他 省略

(5) 各部からの報告等

①指導委員会

(1) 委員会総会 決まり次第連絡します。

(2) 岩登り講習会 7/12(土)〜13(日)：遭対委合同↓日程・場所検討

(3) 日体協指導員資格の更新を：「資料」期限切れの方が多くなっています。今年有効期限の方大至急手続きを！

②国体委員会

(1) 国体予選1(男子)：加須カップ5/25(日)

(2) 国体予選2(男子)：川越ロッククラフト5/31(土)

③クライミング委員会：土屋

(1) 委員会総会 5/24(土)

(2) 加須カップ5/25(日)

④選手強化委員会：小茂田 [資料]

(1) 国体予選1(男子)：加須カップ5/25(日)

(2) 国体予選2(男子)：川越ロッククラフト5/31(土) 以下省略

(3) 大分国体リハール大会6/7〜8…

(4) 5/13(火)強化対策・経理担当研修会、

⑤遭難対策委員会：瀬藤

(1) 岩場レスキュー研修会7/12(上)〜13(日)

：指導委合同↓7/5(土)加須体育館に変更するか検討(梅雨時・外の岩場は使用できない時が考えられる。)

⑥自然保護委員会：岩崎

(1) 自然観察会No2 5/17〜18(信濃「わらび山荘」)：35名参加予定。

(2) 清掃登山6/22(日)：10団体参加予定

登山道調査・ゴミ回収等で県自然環境課と打合せ。

(3) 日山協・自然保護委員会総会1 1/18(土)〜9(日) 大阪

(4) 指導員資格の更新を：現在各指導員に資料を配布している。

⑦海外登山委員会：塩谷

(1) 委員会総会5/17(土) 東松山市

(2) 講演会 「世界七大陸最高峰登頂と登山10年計画」講師：大山光一 6/24pm6:00〜

大宮ソニックシティ603号室 無料

⑧ジュニア委員会：鎌田 5/10〜12 学総体で

インターハイ出場校決定 男子：松山高、熊高 女子：朝霞高、

